第一部　国語

正答表

問題番号	正答	配点	通し番号	採点基準
一　問一(1)	きそく	1	①	一　問五(3) 1　①書かれた時代が平安時代であることと、②作者が紫式部であることの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は二点を減じる。 2　字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。 3　表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。 4　減点の結果がマイナス点にならないようにする。
問一(2)	おうぼ	1	②	
問一(3)	あらた（めて）	1	③	
問一(4)	おど（る）	1	④	
問二(1)	設置	1	⑤	
問二(2)	運賃	1	⑥	
問二(3)	盛（りつける）	1	⑦	
問二(4)	勢（い）	1	⑧	
問三(1)	七	1	⑨	二　問三(2) 1　①海岸の砂地に自生することと、②耐寒性が強いことの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は二点を減じる。 2　字数については、設問の指示に従って答えるものとする。 3　その他については、一の問五(3)の採点基準3、4に準じる。 問三(3) 1　①良い香りがするので香水に使われることと、②花びらの色が美しいので見て楽しむために庭木として栽培されることの二点が、小学生たちに伝わりやすいように言いかえられた言葉で、解答欄に示した表現につながるように、一文で適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。 2　その他については、一の問五(3)の採点基準3、4に準じる。
問三(2)	揚州に下る	1	⑩	
問四	エ	2	⑪	
問五(1)	和歌	3	⑫	
問五(2)	登場人物の思いが凝縮している（もの）	3	⑬	
問五(3)	（正答例）（『源氏物語』は、）平安時代に書かれ、作者は紫式部（です。）	3	⑭	
問一	開幕	2	⑮	三　問一 1　①私が、世の中では、仕事を適当にやっていれば適当にやっていけると思いかけていたことと、②仕事が人から認められるためには、地道な仕事を常に淡々とこなすことが大切だと考えるようになったことの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。 2　その他については、一の問五(3)の採点基準3、4に準じる。 問二 1　①は、戦っているときの牛は、尾を「腹に付けている」ことが、②は、戴嵩の描いた絵の中の牛は、尾を「立てている」ことが、適切に表現されているものをそれぞれ正答とする。 2　その他については、二の問三(2)の採点基準2並びに一の問五(3)の採点基準3、4に準じる。
問二(1)	（誤って使われている漢字）易 （正しい漢字）益	1	⑯	
問二(2)	（誤って使われている漢字）強 （正しい漢字）協	1	⑰	
問三(1)	エ	3	⑱	
問三(2)	（正答例）海岸の砂地に自生し、耐寒性が強い	3	⑲	
問三(3)	（正答例）（また、）ハマナスの花は、）良い香りがするので香水に使われたり、花びらの色が美しいので見て楽しむために庭木として栽培されたりしています。	5	⑳	
問一	客足が途絶えることがない	3	㉑	
問二	想像してい	3	㉒	
問三	イ	3	㉓	
問四	（正答例）私は、世の中では、仕事を適当にやっていれば適当にやっていけると思いかけていたが、仕事が人から認められるためには、地道な仕事を常に淡々とこなすことが大切だと考えるようになった。	6	㉔	
問一（最初）（最後）	（最初）汝が朝夕 （最後）似たるか	2	㉕	
問二①	（正答例）腹に付けている	2	㉖	
問二②	（正答例）立てている	2	㉗	
問三	ウ	3	㉘	
計		60		

（注）正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。